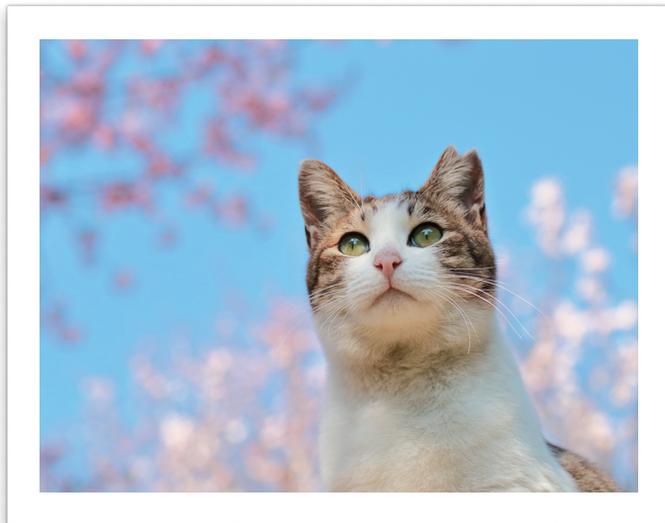


# さくらねこ

どうぶつ基金





さくらの花びらの耳をした  
ねこを見たことがありますか？



さくら。  
春の訪れおとすと共に咲き、  
たくさんの人の心なごを和ませて  
あっという間に散ちってしまう花。



ハラハラと散<sup>ち</sup>る  
さくらの花びらをよく見ると、  
かわいいハートの形をしています。



この花びらと同じ形の耳をした  
ねこがいます。

さくらみみの、さくらねこ。  
それがぼく、ミミ太です。



ぼくがどうして  
さくらねこになったのか、  
お話ししましょう。

ぼくが生まれたのは春。

ぼくのおかあさんは、ヒトが住んでいる家の縁えんの下で  
五いつつ子を産うみました。





生まれたばかりのぼくたちがニーニー<sup>な</sup>鳴き出すと、  
おそろしい男<sup>おそ</sup>が来て、3匹をつかまえて箱<sup>はこ</sup>に入れ、  
車に乗せました。

きょうだいたちが連れて行かれたのは、  
動物愛護センター（保健所）というところでした。



ここできょうだいは新しい家族<sup>かぞく</sup>にしてくれるヒトを  
毎日毎日<sup>まいにち たの</sup>楽しみに<sup>ま</sup>待っていましたが、  
5日<sup>た</sup>が経っても「ねこがほしい」というヒトは現れず、  
人間<sup>あraw</sup>にとって不要<sup>ふよう</sup>な「保護期限<sup>ほご きげん</sup>切れ」のいのちになりました。

そして6日目の朝、  
小さいけれど大切な3つのいのちは、  
人間<sup>ごろう</sup>によって殺<sup>ころ</sup>されました。



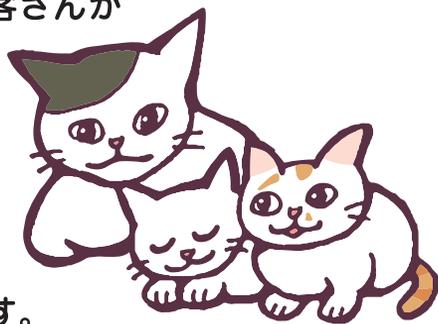


ヒトの家から逃げたぼくたちは  
コンビニの駐車場をすみかにして  
3匹でなかよく暮らしました。



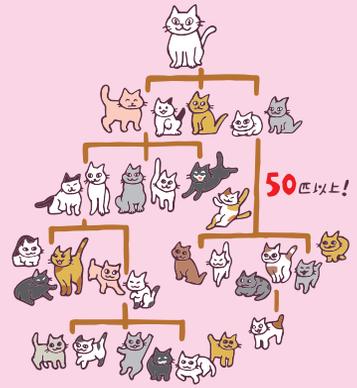
バイトのお兄さんや通りすがりのお客さんが  
ときどきご飯をくれたおかげで、  
ぼくと妹は夏の間大きくって、  
やがて秋になりました。

ぼくらはたった半年で、  
子どもを産めるからだになったのです。



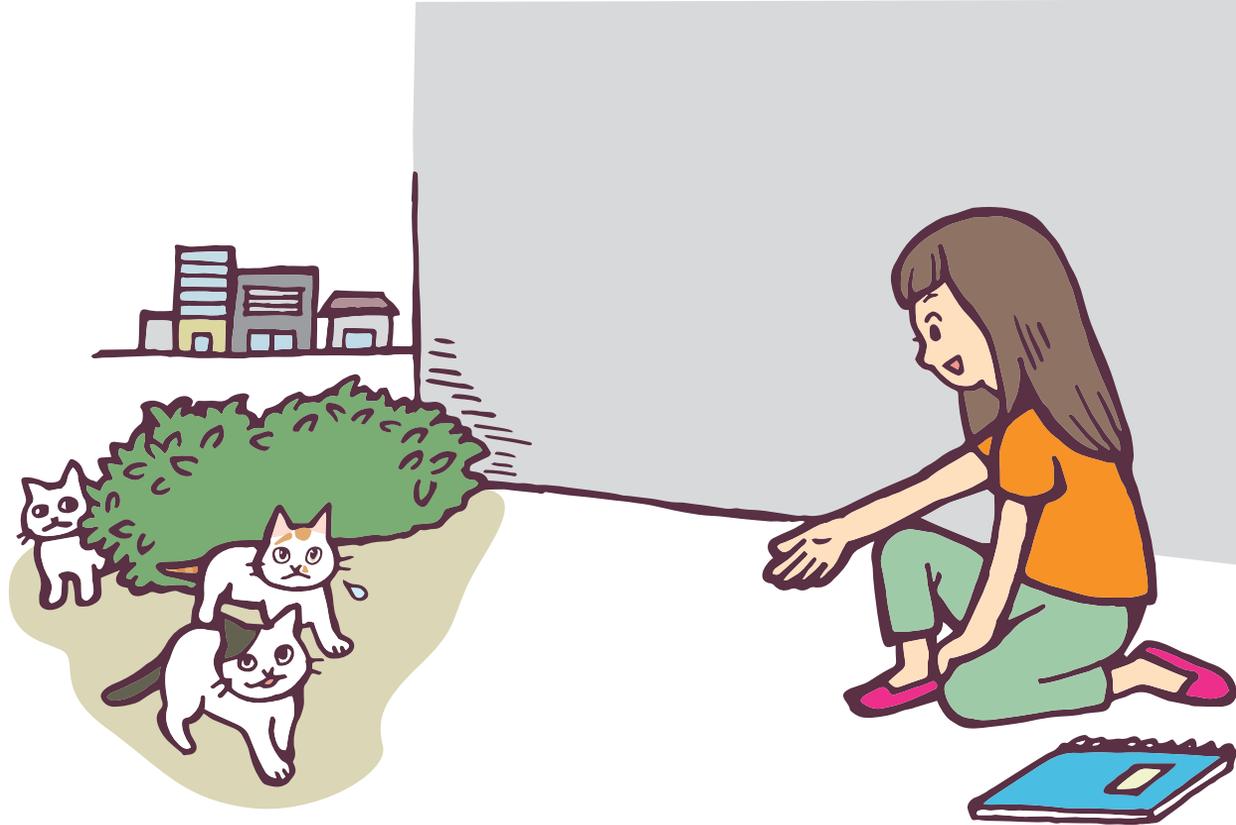
ねこ  
猫は1年間で  
どのくらい増えるの？

人間と比べると猫の成長はとて  
も早く、生まれて4ヶ月もすれ  
ば子どもが産めるからだになり、  
妊娠して2ヶ月で4~6匹の子  
猫が産まれます。  
猫は交尾するとかなり高い確率  
で妊娠するため、多ければ年に  
3回出産することもあり、その  
子猫がさらに孫猫を産むと想定  
して計算すると、1匹の母猫から  
1年間に生まれる子猫の数は、  
最大で50匹以上にもなります。



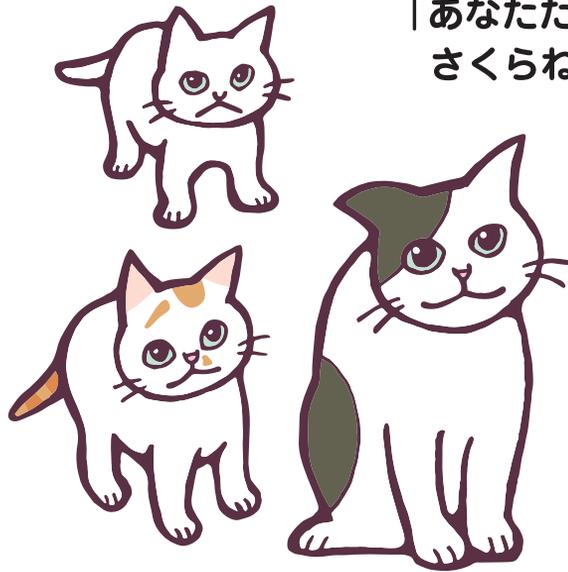
あるとき、雨が長く続いて、  
いつもおなかを空かせているぼくたちは  
食べものを探してウロウロしているうちに、  
いつの間にか遠く知らない場所まで  
来てしまいました。





ねこには、自分の縄張り<sup>なわば</sup>以外の場所<sup>かって</sup>に勝手に入ってはいけないというルールがあります。他のねこに見つかって怒られないか、つかまえようとする怖い人間<sup>おこ</sup>がい<sup>こわ</sup>ないか、ビクビクしながら道ばたでたたずんでいると、やさしそうなお姉さんがぼくたちに気がついて、「おなか<sup>おこ</sup>が空いているの？」と話しかけてきました。

人間の<sup>ことば</sup>言葉を<sup>りかい</sup>理解できたのははじめてだったので、  
ぼくはビックリしました。  
お姉さんはぼくたちにご<sup>はん</sup>飯をくれて、  
そしてやさしくこう言いました。



「あなたたちも、  
さくらねこにならなくちゃね」

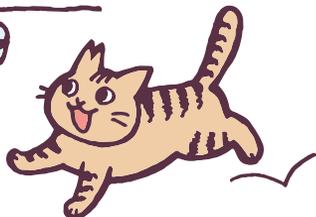
お姉さんの名前は  
ヨーコさんといって、  
絵を描く<sup>か</sup>仕事<sup>しごと</sup>をしていました。



この町で、ぼくたちはしばらく  
暮らしてみることになりました。



町には先住ねこがいましたが、なぜだか  
ぼくたちに「出ていけ」と怒りません。

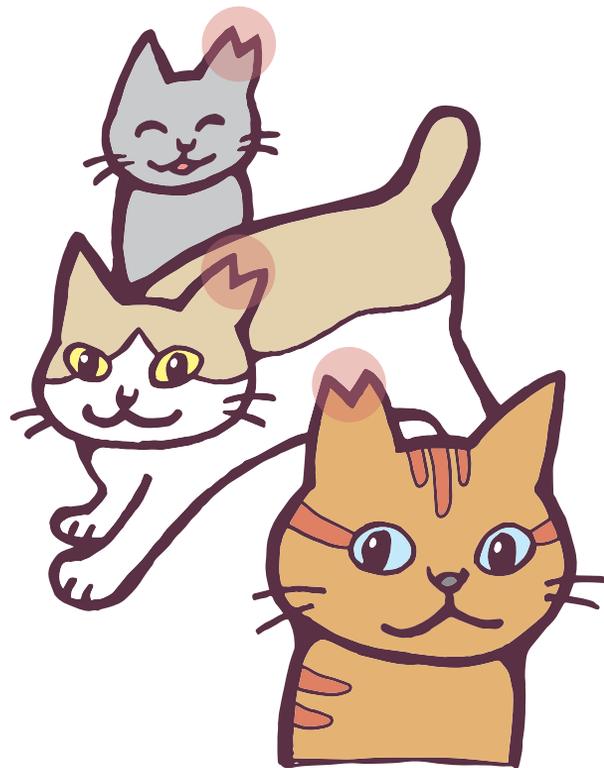


それどころか、好きな時にのんびりお昼寝したり  
デートをしたりプロレスごっこをしたり、  
ゲイバーのママのリンゴさんや、  
ヒッピーのボブさんや、町のいろんなヒトたちと遊んで  
ときどきご飯をもらっていました。



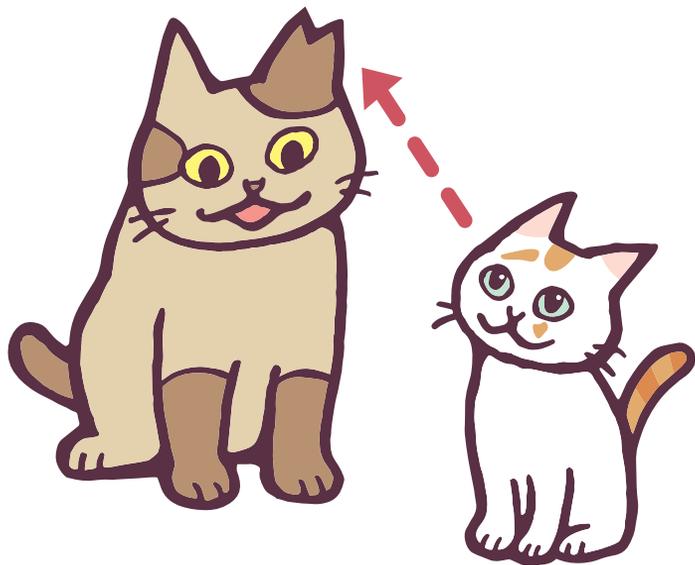
この町では、ヒトもねこも  
とても自由に暮らしていました。

この町のねこたちと、  
ぼくたちはなにが違<sup>ちが</sup>うのかな？



そう思ってよく見てみると、  
どのねこもみんな、耳の先が  
<sup>フイ</sup>V字の形になっていました。

ぼくが不思議ふしぎそうにその耳を  
じっと見つめると、  
1匹しまんが自慢げにこういいました。

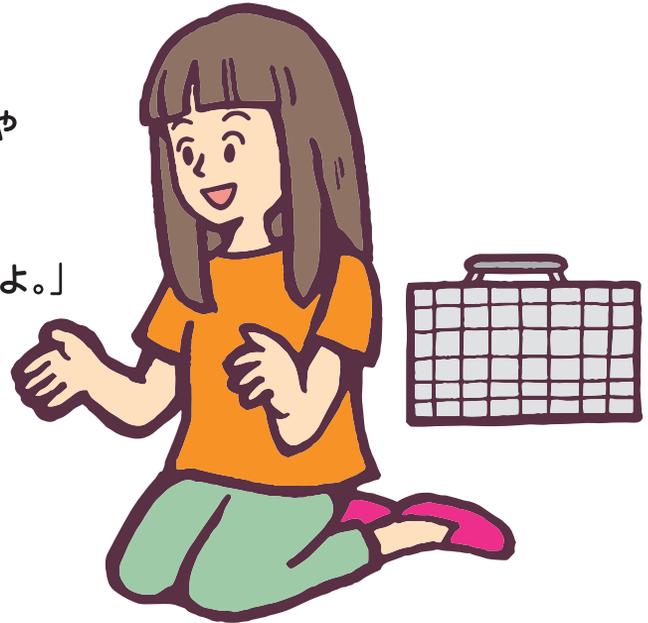
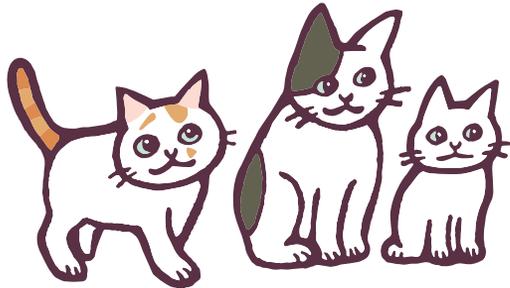


「この耳は、さくらみみだよ。  
さくらねこのしるしなんだ！」

ある日、ヨーコさんがご飯と一緒<sup>いっしょ</sup>に大きなカゴを持ってきて、  
ぼくたちに「さくらねこ」の話をしてくれました。

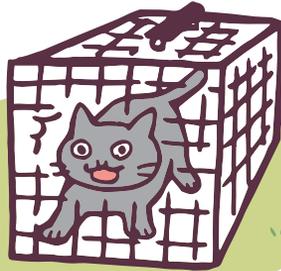
「この町のねこは、みんなさくらねこのの。  
さくらねこは、不妊手術<sup>ふにんしゅじゅつ</sup>をしたねこのことよ。  
手術<sup>しゅじゅつ</sup>をしたことがわかるように、耳の先を  
さくらの花びらのようにカットしているの。」

町にこれ以上ねこが増えてしまうと、  
生まれてすぐに殺<sup>ころ</sup>されてしまう子ねこや  
不幸<sup>ふこう</sup>なねこが増えてしまうから、  
ヒトとねこが一緒<sup>いっしょ</sup>に暮らすために  
わたしはTNRという活動<sup>ディーエヌアール かつどう</sup>をしているのよ。」



# TNRとは

トラップ  
**Trap**  
つかまえる



ねこ  
猫がケガをしない  
ように気をつけて、  
捕獲器でつかまえます。



リターン  
**Return**  
もとに戻す



ニューター  
**Neuter**

不妊手術

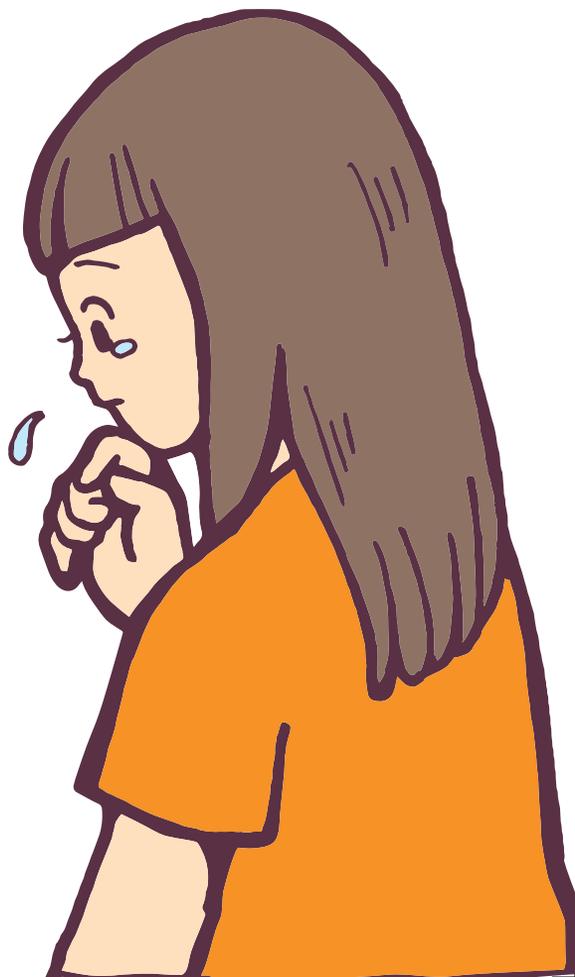
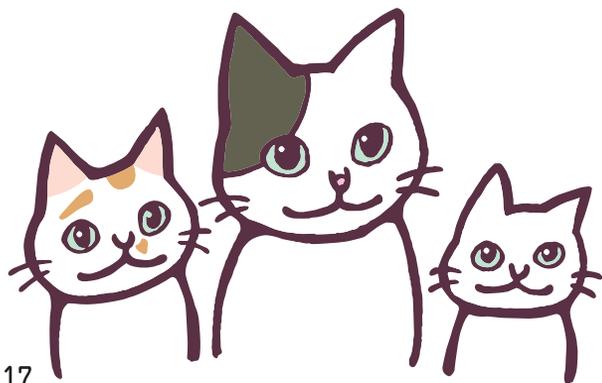
ひと晩ゆっくり休ませ  
て、元気になってから  
「さくらねこ」に生まれ  
変わった猫をもといた  
場所に返します。

オスは去勢手術、メスは避妊手術をします。  
全身麻酔の間に「不妊手術が済んでいます」と  
いう印として耳先をカットし、ワクチン接種や  
ノミ除薬の投与、耳掃除や爪切りも行います。

「おかあさんねこは1年間で多い時には3回も妊娠して  
一度に5、6匹の子どもを産むの。

けれど、あなたたちのようなノラネコの子どもは  
人間に邪魔者扱いされて、ほとんどが産まれてすぐに  
殺されてしまうのよ。今でも日本では、  
毎年何万匹ものねこたちが殺されているわ。  
こんな不幸なお話は、もう終わりにしたいの…」

ヨーコさんの目からは涙があふれていたけど、  
しっかり僕たちの目を見て話してくれました。

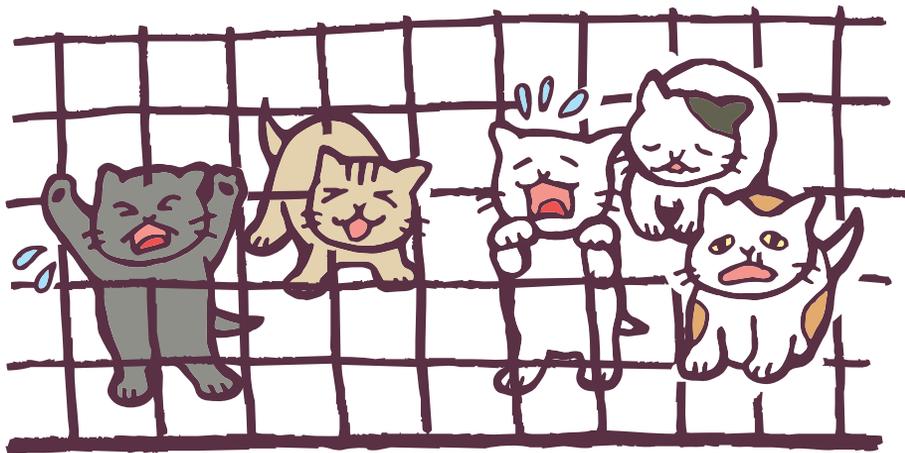


しずかに話を聞いていたおかあさんが、悲しそうにつぶやきました。

「…わたしはこれまでに30匹くらい子どもを産んだけど、みんな人間に連れていかれて、

ほとんどが殺されてしまったわ…

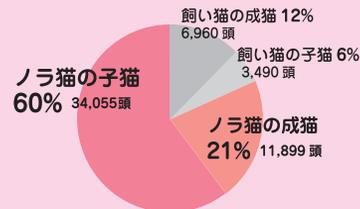
生き残った子どもは、結局あなたたちだけなのよ。」



## 子猫はどのくらい殺処分されているの？

環境省の調べによると、平成30年度に全国の保健所に引き取られた猫の数は合計56,404匹。そのうちの60%にあたる34,055匹が産まれてまもない子猫で、1年間に20,234匹（全体では30,757匹）が殺処分されています。家猫の放し飼いや繁殖スピードの早さからノラ猫の数が自然に減っていくことは難しく、1匹でも多くの猫に不妊手術を施すことが、猫の殺処分口を実現する有効な手段なのです。

### 引き取られた猫の内訳



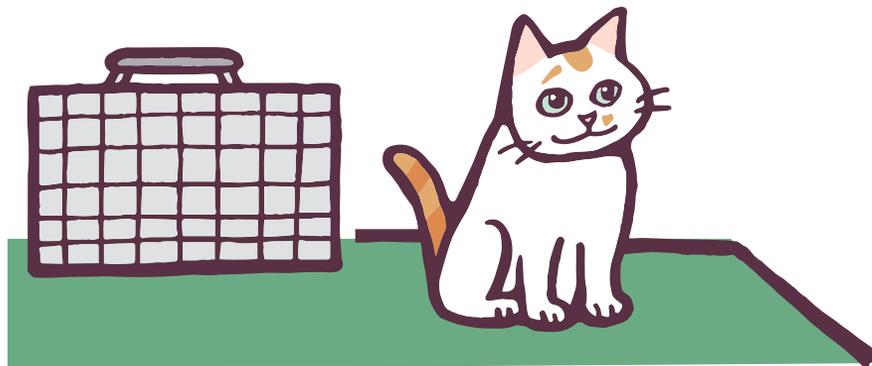
環境省「犬・猫の引き取り及び負傷動物の収容状況（平成30年度）」より

そうか、ぼくたちがさくらねこになるのは、  
ぼくのきょうだいたちのように  
生まれたばかりの子ねこが殺ころされないためなんだ。  
そして、この町でねこがヒトと一緒いっしょに自由くに暮らすためなんだ。

カゴに入れられて病院びょういんに行くと、先生が言いました。

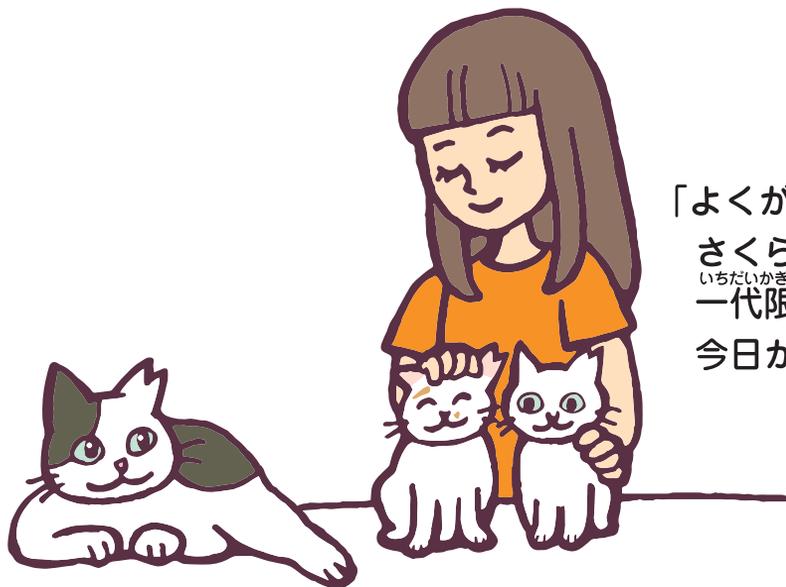
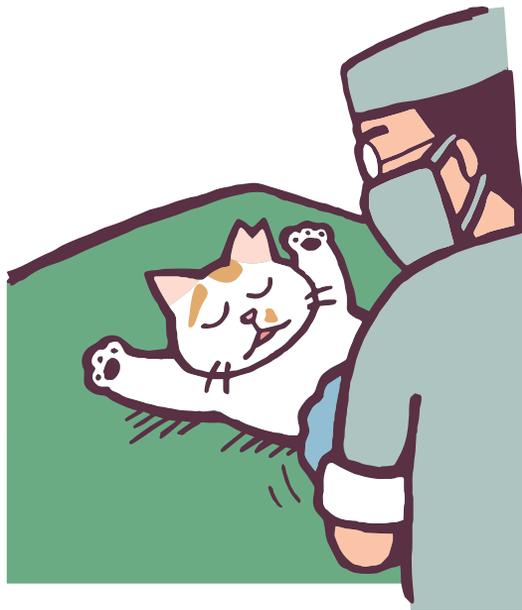


「これからきみたちに手術しゅじゅつをするよ。  
麻酔ますいをするから痛いたくないし、  
すぐ終わるから大丈夫だよ。」



目が覚めると、  
ぼくの耳はさくらみみになっていました。

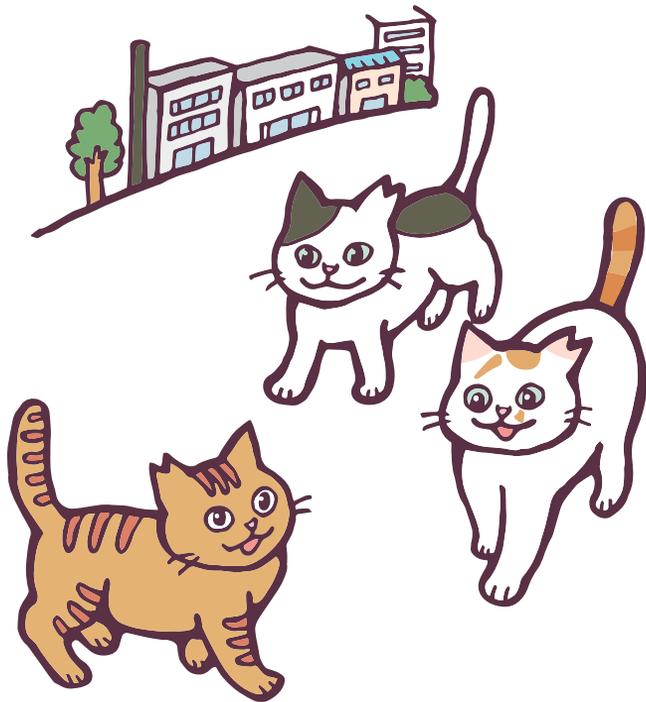
おかあさんと妹もそう。  
ぼくたちは3匹一緒にさくらねこになりました。



「よくがんばったね。  
さくらみみは、愛されねこのしるしなの。  
一代限りのいのちを大切に、自由に生きなさい。  
今日からあなたの名前はミミ太よ。」

ヨーコさんがお祝いに、  
ぼくに名前を付けてくれました。

こうして、ぼくとおかあさんは  
さくらねこになって町にかえってきました。



妹は、<sup>びょういん</sup>病院で新しい家族として<sup>むか</sup>迎えたい  
というヒトに出会ってもらわれていきました。

ぼくは、やさしい仲間<sup>なかま</sup>がいるこの町が  
<sup>す</sup>好きだから、ここで暮<sup>く</sup>らせることが  
うれしくてたまりませんでした。

おかあさんも  
少しふっくらとして、  
きもちよさそうに  
お昼寝ひるねをしています。



外での暮らしくはいいことばかりではありません。  
ぼくたちのこときが嫌いなヒトきもいるし、  
空からカラスおそが襲おそってくることもあります。  
雨の日や台風たいへんの日も大変です。





つらい日もあるけれど、  
ぼくたちは  
しあわく  
幸せに暮らしています。

さくらねこは、  
自由に生きています。

もし

さくらねこに出会ったら、

いちだいかぎ  
一代限りのいのちをやさしく見守みまもってください。



そして…

ねこのお世話せわをしているヒトに出会ったら、  
「ありがとう」って、ぼくたちのかわりに  
お礼れいを言ってくださいね。

## さくらねこは不妊手術済みのしるしに耳先をカットした猫のこと



不妊手術をしていないことが原因でノラ猫たちが増えていく。それは猫にとっても不幸なことであり、地域の人たちに迷惑をかけることにも繋がります。そうならないように、ボランティアさんが猫たちを獣医さんのところへ連れて行き、不妊手術をしてもらいます。この手術の時、麻酔中の痛くない間に獣医さんが耳先を桜の花びら形にカットして、手術済みのしるしにするのです。このメッセージがないと、手術済みの猫がもう一度保護され、麻酔や開腹手術を2度される危険があるので、とても重要なしるしです。

## TNRの成功のコツは「すぐやる／全部やる／続ける」

去勢・避妊手術をした猫は、前立腺や卵巣・子宮などの病気のリスクが少なくなります。また、鳴き声やマーキングなどの問題行動がなくなったり、オスの攻撃性が低下するなど様々なリスクを軽減できることから寿命も延びる傾向があります。TNRを率先して行った地域では子猫が生まれなくなり、糞尿の匂いも激減することから、地域の人や活動に取り組む人との関係性も好転しています。TNRの成功のコツは「すぐやる／全部やる／続ける」。この3つを着実に行えば、ノラ猫に関する問題は確実に解決に向かいます。



## さくらねこ無料不妊手術事業は、みなさまからのご支援に支えられています

飼い主のいない猫の問題を殺処分ではなく、不妊手術(TNR)によって解決しようとする行政やボランティアさんを支援する事業です。現在、北海道から沖縄まで全国の保護団体、行政、提携病院が不妊手術を押し進める仲間として登録しています。**殺処分ゼロを実現するには、継続したTNRが不可欠です。**地域の愛され猫を増やすための不妊手術を全国規模で押し進めるには、みなさまのご支援が必要です。

### 🍀 さくらねこサポーターになってください 🍀

「さくらねこサポーター」は、**毎月2,222円から継続的**にさくらねこTNR無料不妊手術の取り組みを応援できる仕組みです。

**さくらねこサポーターのご支援は、無料不妊手術に限定して使用されます。**

みなさまからいただいたご支援金は「不妊手術チケット」というかたちで全国の個人ボランティア、保護団体、行政へ渡ります。チケットを使って不妊手術が実施されると、どうぶつ基金から提携病院へかかった費用をお支払いします。

**2222円のサポートで毎月オス1頭の去勢手術  
4222円のサポートで毎月メス1頭の不妊手術**

ができます。よろしくお願いたします。

### 不幸な猫たちを増やさないために活動しています

公益財団法人どうぶつ基金は、1988年に設立されました。TNR無料不妊手術は2005年から行っており、全国の猫の「殺処分ゼロ」に向けて取り組んできました。活動を続ける中で全国の保護団体や行政、不妊手術を請け負う提携病院は年々増え続け、「さくらねこTNR」の認知度も上がってきました。そして2019年には、どうぶつ基金が不妊手術を行った猫の数は、累計10万頭を達成しました。



あなたのご寄付が、  
あと一頭の命を救います！



寄付の方法  
や最新情報は  
どうぶつ基金  
公式サイトを  
ご覧ください

イラスト：ぎすじみち  
制作：シマネコキネマ



公益財団法人

どうぶつ基金

doubutukikin since 1988

[www.doubutukikin.or.jp](http://www.doubutukikin.or.jp)

どうぶつ基金

検索



一人でも多くの人に知ってもらいたいから、  
この冊子を読み終えたら、他の人に渡してくださいね。